

# がん情報サロンボード

2013/6/06

## 島根の子宮頸がん検診の歩み

島根県の平成23年のがんによる死亡者数は、2,543人、全死亡者数の27.0%を占めており死亡原因の1位を占めています。

2009年島根県で子宮頸がんと診断された人は142人、20～40歳の若い女性が多く罹患する傾向がみられます。

日本の子宮頸がん対策のおくれを指摘し、全国に先駆けて6年前から細胞診・HPV検査併用検診に取り組み子宮頸がん診療に貢献されている島根県立中央病院産婦人科 岩成治医師のこれまで6年間の実績と考察を掲載いたします。

### 細胞診・HPV 検査併用検診 — 6年間の実績 —

島根県立中央病院産婦人科 岩成 治

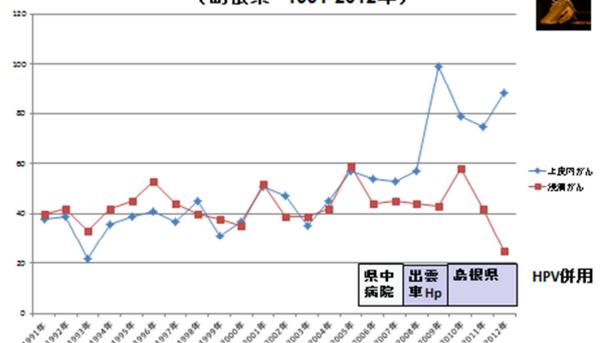
1.子宮頸がんは若年化する一方で妊婦が高齢化したので、がん検診の目的は、早期がんの発見ではなく、妊孕能温存治療ができるCIN3までの発見となってきた。

2.検診間隔が2年になったところから若年者の浸潤癌が増加し始め、死亡率も上昇してきた。原因は①受診率が25%で非常に低い事。②受診者が固定化・高齢化していること。③細胞診のCIN2/3検出感度に限界があること。従来の細胞診の改善策としてベセスダシステム、液状化検体細胞診、HPV併用検診がある。不適正標本率は綿棒18%、ヘラ2%、ブラシ0.2%。

3.厚労省は2013年10月からクーポン配布事業にHPV検査(30,35,40歳に限定)事業追加を計画。

4.全国に先駆け、2007年から出雲市の住民検診で実施し、2009年からは島根県全域でHPV併用検診を実施した結果、2012年には島根県の浸潤がんが例年の50%に半減し、併用検診6年の出雲市からはほぼ消えた。

子宮頸がん 上皮内がんと浸潤がんの推移 (島根県 1991-2012年)

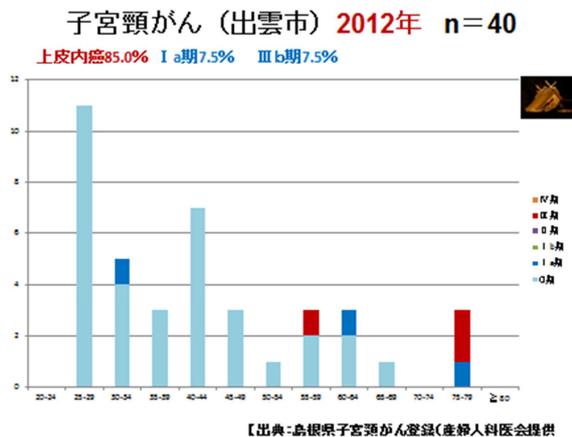


【出典-島根県子宮頸がん登録(産婦人科医会提供)】

5.併用検診は高精度:CIN2 以上の検出感度 100%、特異度 89%、陽性反応的中度 14%、陰性反応的中度 100%。

6. 併用検診は効率的:細胞診陰性・HPV検査陰性の場合、受診間隔3~5年に延長可能。CIN3検出単価 46%削減可能。行政の検診助成費用 30%以上削減可能。

7.併用検診の適正年齢は 25 歳~65 歳が推奨できる。



8. ワクチン時代にも対応可能:HPVワクチンが普及すれば細胞診異常は現在の70%も激減するため、HPV検査陽性者に絞った検診が必然となる。

9. 円錐切除後はHPV検査も 80%陰性化し、自然妊娠、自然分娩も可能。

10. 併用検診は受診者、産婦人科医、細胞検査士、行政、保険者、病院にとってそれぞれ有用であった。

11. 受診者への分かりやすい説明例：

1) HPV には一時的にはほとんどの女性が感染するので、「HPV 検査は HPV が消えたかどうかの検査です」と事前説明することが過剰な不安を与えず、併用検診の受診率向上につながる。

## 細胞診・HPV検査 併用検診

大規模共同研究05.06年 n = 2931

CIN 2+(中等度異形成以上) = 50/2931 = 1.7%

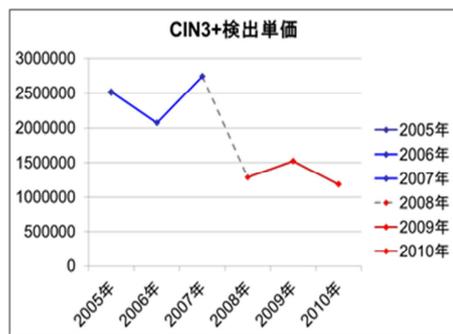
(%)	感度	特異度	陽性反応的中度	陰性反応的中度
細胞診	86.0	93.6	19.1	99.7
HPV検査	94.0	91.5	16.1	99.9
細胞診・HPV	100	89.7	14.4	100

中等度異形成発見に

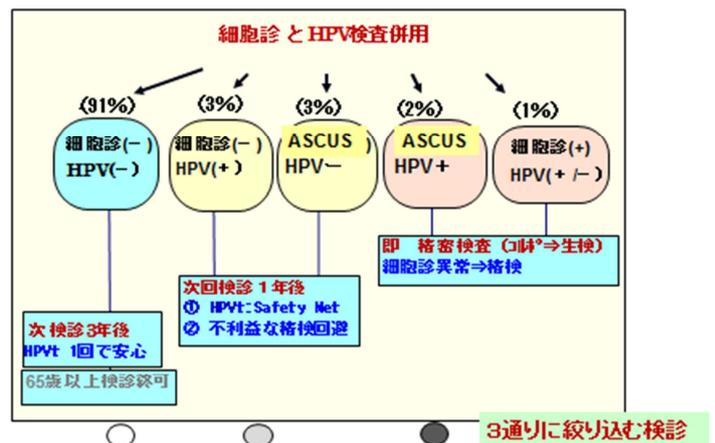
見逃しが無い

偽陰性がない  
白は白

CIN3+検出単価 45%削減  
2005-2010年 (出雲市実費+県補助)



## 細胞診・HPV検査併用子宮頸がん検診 下記のトリアージ方法は日本でも適用可能



2) 4つの選択を提示、①円錐切除も嫌ならワクチン+併用検診(97%保証)、②子宮摘出は嫌だが円錐切除はOKなら併用検診(99%保証)、③死にたくないが子宮摘出はOKなら細胞診のみの検診(90%保証)、④死も苦もOKなら出血があつてから病院受診(100%保証)。ほとんどの人は①を選択します。



#### 参考文献

- 1) 岩成 治:子宮頸がん検診受診率向上への取り組み -日本初の細胞診・HPV 検査併用検診で受診率向上・高精度化・効率化達成- .臨床婦人科産科 64: 288-297. 2010
- 2) 今野 良、岩成 治: HPV DNA検査. 化学療法の領域27:, 323-334. 2011
- 3) HPV-DNA検査. Office Gynecologyのための婦人科腫瘍関連マニュアル、9-16,2011
- 4) 岩成 治: 細胞診・HPV-DNA 検査併用検診の効用—高精度化・効率化・受診率向上. 産婦治療 102:937-946, 2011
- 5) 子宮頸がん検診リコメンデーションとHPVワクチンの普及に向けて—細胞診HPV-DNA検査併用検診—、日本産婦人科医会、2012
- 6) 岩成治、今野良、林由梨: 子宮頸がんの HPV 検査・細胞診併用検診. 臨床婦人科産科 67: 300-3007, 2013
- 7) 岩成治、森山政司、小村明弘: HPV DNA 検査併用による子宮頸がん検診. 臨床婦人科産科 67: (8) , 2013 掲載予定

## 岩成 治 氏 プロフィール



### プロフィール

昭和 51 年 3 月 鳥取大学医学部医学科卒業(1976)  
昭和 51 年 4 月 島根医科大学産科婦人科入局  
平成 3 年 4 月島根医科大学産科婦人科 助教授(1991)  
平成 6 年7月～平成 17 年 3 月島根県立中央病院産婦人科部長(1994)  
平成 6 年7月～現在 島根大学臨床教授  
平成 15 年 4 月～現在 島根県立中央病院母性小児診療部長(2008)

### 資 格

日本産科婦人科専門医  
日本臨床細胞学会認定 細胞診専門医  
日本婦人科腫瘍学会認定 婦人科腫瘍専門医  
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医  
日本がん検診・診断学会認定医

### 学会活動

日本臨床細胞学会 評議員  
日本臨床細胞学会 島根県元支部長(10 年間)  
日本婦人科腫瘍学会 評議員  
日本婦人科検診学会 常任理事

### 活 動

2009 年～ 日本産婦人科医会がん対策委員会 委員長  
1984 年～ 島根県習慣病検診管理指導協議会子宮がん部会長  
2008 年～ 子宮頸がん制圧をめざす専門家会議委員  
2008 年～ 島根県がん対策推進協議会委員

(富田)

# がん情報サロンボード

2013/11/01

がん情報サロン 富田 明人

## 2012/山陰のがん診療連携拠点病院の現況報告

今年も国が指定した全国のがん診療連携拠点病院の情報を公表した。この資料は、2012年10月に厚生労働省に提出された「新規指定・指定更新推薦書」及び「現況報告書」をもとに作成しています。

今年も全国の397施設の情報で国立がん研究センターのホームページに掲載されていますが、その中から山陰のがん診療連携拠点病院の「医師等の専門性に関する資格名に該当する人数」及び「患者数・診療件数の状況」を抜粋して掲載しました。

この資料は両県のがん診療連携拠点病院のデータであり県全体の状況を反映したものではありませんが、概要を把握するには参考になる資料です。

島根県の主な専門医の変動は前年967人⇒1,012人(104.6%)と僅かに増えている。顕著なのは、がん治療認定医の有資格者が38⇒49⇒70人と増え3年前と比較すると32人増加しています。

外科専門医(64)、総合内科専門医(37)、消化器病専門医(45)、消化器内視鏡専門医(34)、小児科専門医(27)等は充実している。

一方、呼吸器関係の専門医は少なく呼吸器専門医(9)、呼吸器外科専門医(4)です。

放射線専門医は診断医14名、治療医4名、医学物理士3名、放射線治療品質管理士5名、放射線治療専門放射線技師8名と昨年比して増加は認められない。(表-1)

	島根大学医学部付属病	島根県立中央病院	松江市立病院	松江赤十字病院	浜田医療センター	合計	前年
(社)日本医学放射線学会 放射線診断専門医	9	4	0	0	1	14	18
(社)日本医学放射線学会 放射線治療専門医	2	2	0	0	0	4	6
日本医学放射線学会 医学物理士	1	0	1	0	1	3	3
放射線治療品質管理機構 放射線治療品質管理士	2	1	2	0	0	5	6
日本放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師	2	1	3	1	1	8	6
合 計	16	8	6	1	3	34	39
							表-1

がん専門の知識を有する薬剤師も県全体で10名。前年比も変化はない。

鳥取県の主な専門医は、942人 昨年 815人 115%の増となっている。

外科専門医 (56)、総合内科専門医 (35)、消化器専門医 (33)、小児科専門医 (41)、呼吸器専門医 (23)、消化器内視鏡専門医 (26)、がん治療認定医 (80) 等は充実している。

放射線専門医は診断医 25名、治療専門医は 5名、医学物理士 2名、放射線品質管理士 7名である。(表一2)

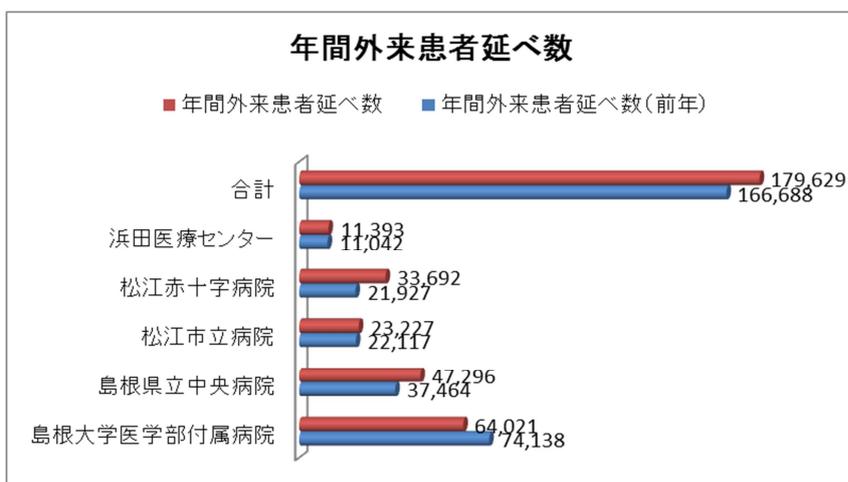
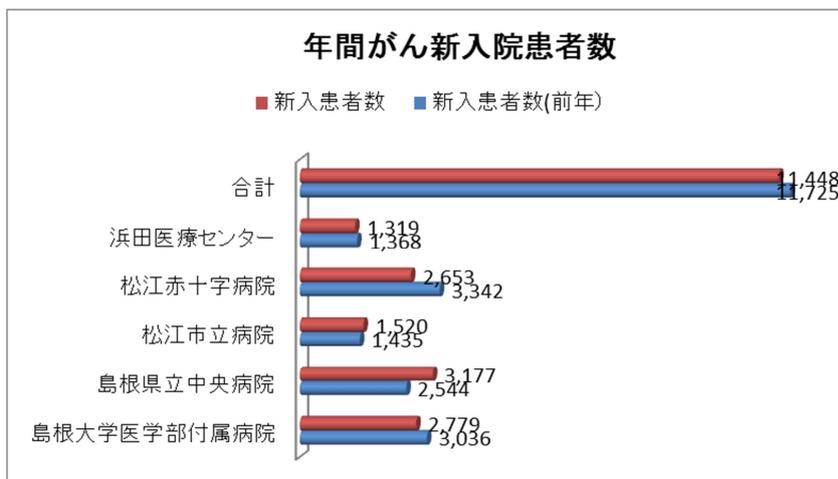
	鳥取大学医学部附属病院	米子医療センター	鳥取県立中央病院	鳥取市立病院	鳥取県立厚生病院	合計	前年
(社) 日本医学放射線学会 放射線診断専門医	17	2	2	2	2	25	8
(社) 日本医学放射線学会 放射線治療専門医	2		2	1	0	5	20
日本医学放射線学会 医学物理士	1		0	1	0	2	2
放射線治療品質管理機構 放射線治療品質管理士	3	1	2	1	0	7	5
日本放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師	4	1	2	1	2	10	8
合計	27	4	8	6	4	49	43

表一2

なお、人員数は常勤のみを掲載しており非常勤は除外している。

島根県の年間のがん患者の診療状況の動向は、新入院患者数は、前年比2%減の 11,448人であった。

外来患者延べ数は前年比8%増の 179,629人の伸びを示している。



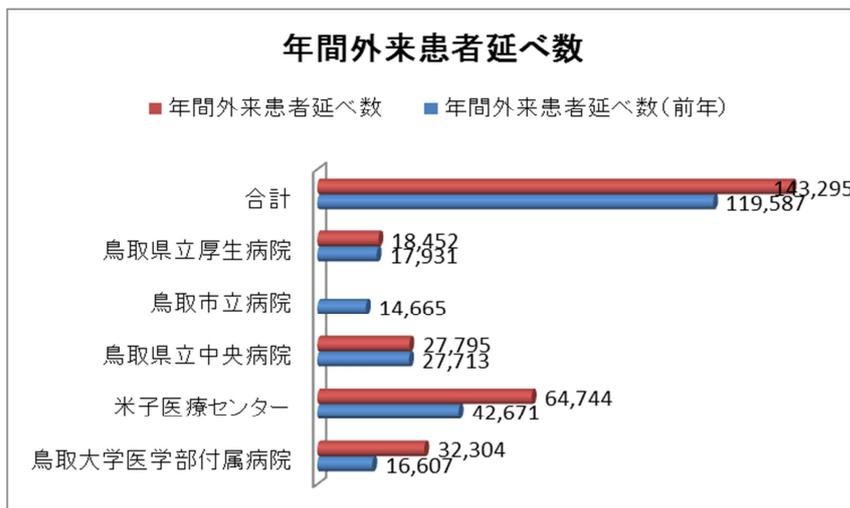
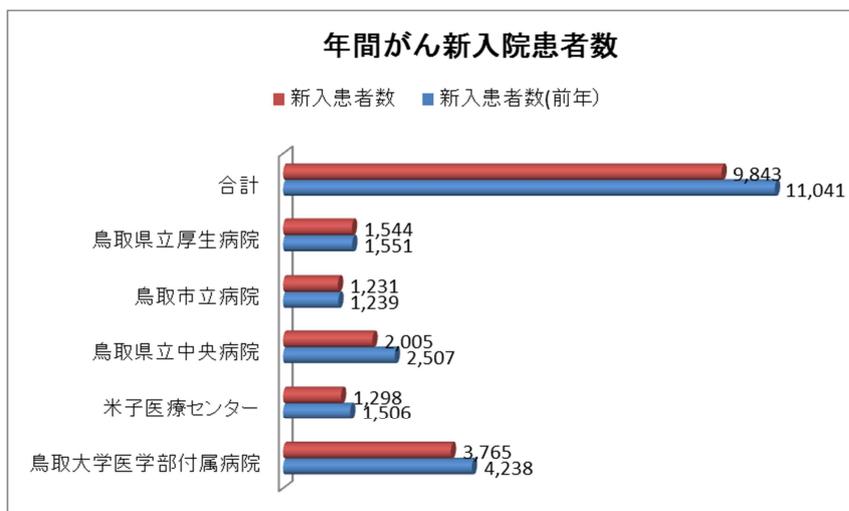
鳥取県も年間のがん新入院患者数は 11%減の 9,843 人であったが、外来患者数は 20%増加して 143,295 人であった。

両県ともがん新入患者数は減少しているが、外来患者数は増加している。特に鳥取県の外来患者数は前年比 120%と顕著な伸びを示している。

手術等の状況は（平成 24 年 4 月 1 日～7 月 31 日）の悪性腫瘍手術総数は 1,527 件で、部別で最も多い術方は、肺がんの手術では胸腔鏡下手術（59 件）、胃がんの手術は内視鏡手術（ESD）（76 件）、大腸がんの手術は内視鏡手術（453 件）、肝臓がんの手術はラジオ波焼灼療法（72 件）乳がんの手術は手術（114 件）となっている。

放射線治療は体外照射 1142 件（IMRT 40 件）小線源治療 39 件（島根大学）であった。

がん薬物療法を受けた患者総数は 3,265 人であるが、外来患者が多く全体の 55%を占める。（表一3）



がんに係る薬物療法（平成24年4月1日～7月31日）		鳥根大学医学部付属病院	鳥根県立中央病院	松江市立病院	松江赤十字病院	浜田医療センター	合計
のべ患者数	入院患者数	550	214	103	512	89	1,468
	外来患者数	578	469	136	497	117	1,797
合計		1,128	683	239	1,009	206	3,265

表一3

鳥取県の手術の状況は、(平成24年4月1日～7月31日)の手術総数は1,020件、部別手術数で最も多い術方は、肺がんで胸腔鏡下手術(70件)、胃がん手術は開腹手術(52件)、大腸がん手術は内視鏡手術(60件)、肝臓がん手術はラジオ波焼灼療法(23件)乳がんは手術(54件)であった。

期間中の放射線治療述べ患者数は、体外照射853人、その内IMRTなど特殊な治療を受けた患者は41人であり、小線源治療を受けた患者は40人であった。

鳥取県のがん薬物療法を受けた患者総数は2,139人であったが外来患者数が1,153人(53.9%)と過半数を占める。(表-4)

がんに係る薬物療法(平成24年4月1日～7月31日)		鳥取大学医学部付属病院	米子医療センター	鳥取県立中央病院	鳥取市立病院	鳥取県立厚生病院	合計
のべ患者数	入院患者数	381	243	202	72	88	986
	外来患者数	422	224	263	117	127	1,153
合計		803	467	465	189	215	2,139
							表-4

「がんになっても安心して暮らせる社会の構築」を目標にがん対策が取り組まれ、重点的に取り組むべき課題として、放射線療法、化学療法、手術療法の充実とこれらを専門的に扱う医療従事者の育成を推進してきたところですが、呼吸器専門医、放射線専門医、がん専門薬剤師等の不足は解消されておらずこれら専門医療者の充実が課題として残されている。

医療資源の偏在も解消されていない。少ない資源を効率よく活用するためにもがん診療病院間の更なる連携強化が望まれる。

掲載した情報は両県のがん診療連携拠点病院の情報のみであり、その他の病院の情報は収録できなかった。地域の診療情報は少ないが、がん患者やがんと診断された人に役立つ地域の医療情報の積極的な公開と県のがん対策のホームページ等による情報の提供など啓発・広報活動の強化が必要である。

(富田)

## 医師等の専門性に関する資格名に該当する人数について

	島根大学医学部附属病院	島根県立中央病院	松江市立病院	松江赤十字病院	浜田医療センター	合計	前年
(社) 日本整形外科学会 整形外科専門医	8	7	4	3	1	23	28
(社) 日本皮膚科学会 皮膚科専門医	4	3	1	0	1	9	11
(社) 日本麻酔科学会 麻酔科専門医	20	3	5	5	1	34	27
(社) 日本医学放射線学会 放射線診断専門医	9	4	0	0	1	14	18
(社) 日本医学放射線学会 放射線治療専門医	2	2	0	0	0	4	6
(財) 日本眼科学会 眼科専門医	7	2	2	3	1	15	16
(社) 日本産科婦人科学会 産婦人科専門医	10	10	3	4	3	30	30
(社) 日本耳鼻咽喉科学会 耳鼻咽喉科専門医	6	2	1	4	1	14	15
(社) 日本泌尿器科学会 泌尿器科専門医	8	3	2	3	1	17	19
(社) 日本形成外科学会 形成外科専門医	1	1	1	3	0	6	6
(社) 日本病理学会 病理専門医	5	2	1	1	1	10	9
(社) 日本内科学会 総合内科専門医	21	7	3	3	3	37	37
(社) 日本外科学会 外科専門医	26	15	8	8	7	64	61
(社) 日本糖尿病学会 糖尿病専門医	5	1	2	3	1	12	12
(社) 日本肝臓学会 肝臓専門医	11	2	3	3	0	19	18
(社) 日本感染症学会 感染症専門医	0	1	1	1	0	3	3
有限責任中間法人 日本救急医学会 救急科専門医	2	4	0	4	1	11	12
(社) 日本血液学会 血液専門医	8	1	1	1	0	11	11
(社) 日本呼吸器学会 呼吸器専門医	5	0	2	1	1	9	7
(社) 日本循環器学会 循環器専門医	7	5	3	6	2	23	29
(財) 日本消化器病学会 消化器病専門医	22	10	7	5	1	45	39
(社) 日本腎臓学会 腎臓専門医	2	0	1	1	0	4	4

	島根大学医学部附属病院	島根県立中央病院	松江市立病院	松江赤十字病院	浜田医療センター	合計	前年
(社) 日本小児科学会 小児科専門医	15	4	4	3	1	27	28
(社) 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医	10	0	0	2	1	13	11
有限責任中間法人 日本消化器外科学会 消化器外科専門医	7	3	3	5	2	20	21
(社) 日本超音波医学会 超音波専門医	7	0	1	3	0	11	10
特定非営利活動法人 日本臨床細胞学会 細胞診専門医	1	3	2	2	1	9	9
(社) 日本透析医学会 透析専門医	3	1	0	0	0	4	5
(社) 日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医	4	4	2	4	3	17	17
(社) 日本リハビリテーション医学会 リハビリテーション科専門医	2	1	1	3	0	7	7
(社) 日本老年医学会 老年病専門医	3	1	0	0	0	4	5
心臓血管外科専門医認定機構 心臓血管外科専門医	2	3	0	3	1	9	8
呼吸器外科専門医合同委員会 呼吸器外科専門医	1	2	0	1	0	4	4
(社) 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医	16	5	6	4	3	34	35
特定非営利活動法人 日本小児外科学会 小児外科専門医	1	1	0	0	0	2	2
有限責任中間法人 日本神経学会 神経内科専門医	6	2	3	4	0	15	17
有限責任中間法人 日本リウマチ学会 リウマチ専門医	4	2	0	1	0	7	8
有限責任中間法人 日本乳癌学会 乳腺専門医	1	1	0	3	0	5	5
有限責任中間法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医	4	1	0	0	0	5	5
(社) 日本東洋医学会 漢方専門医	1	0	0	0	0	1	3
特定非営利活動法人 日本レーザー医学会 レーザー専門医	0	0	0	0	0	0	0
特定非営利活動法人 日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医	7	1	2	0	0	10	7
(社) 日本アレルギー学会 アレルギー専門医	4	1	0	1	0	6	5
有限責任中間法人 日本核医学会 核医学専門医	2	0	1	2	0	5	5
特定非営利活動法人 日本気管食道科学会 気管食道科専門医	1	0	0	0	0	1	1

	島根大学医学部附属病院	島根県立中央病院	松江市立病院	松江赤十字病院	浜田医療センター	合計	前年
有限責任中間法人 日本大腸肛門病学会 大腸肛門病専門医	0	0	1	0	0	1	1
特定非営利活動法人 日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医	2	2	0	0	0	4	4
有限責任中間法人 日本ペインクリニック学会 ペインクリニック専門医	6	0	1	0	1	8	7
有限責任中間法人 日本熱傷学会 熱傷専門医	0	0	0	0	0	0	0
特定非営利活動法人 日本脳神経血管内治療学会 脳血管内治療専門医	1	1	1	1	0	4	4
特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医	5	0	0	0	0	5	3
一般社団法人 日本周産期・新生児医学会 周産期(新生児)専門医	1	0	0	0	0	1	1
(社) 日本生殖医学会 生殖医療専門医	2	2	0	0	0	4	3
一般社団法人 日本小児神経学会 小児神経専門医	1	0	0	1	0	2	2
特定非営利活動法人 日本心療内科学会 心療内科専門医	0	0	0	0	0	0	0
有限責任中間法人 日本総合病院精神医学会 一般病院連携精神医学専門医	1	0	1	0	0	2	0
日本緩和医療学会 専門医	0	0	1	0	0	1	1
日本緩和医療学会 暫定指導医	2	0	0	0	0	2	2
がん治療認定医機構 がん治療認定医	48	12	7	3	0	70	49
がん治療認定医機構 暫定教育医	16	6	6	2	0	30	28
(社) 日本精神神経学会 精神科専門医	5	3	1	2	0	11	12
(社) 日本泌尿器科学会/日本Endourology・ESWL学会 泌尿器腹腔鏡技術認定医	2	3	0	0	0	5	5
日本内視鏡外科学会 産婦人科領域 技術認定所得者	0	0	0	0	0	0	0
日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定所得者	0	0	0	0	0	0	0
日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定所得者	4	0	0	0	0	4	5
日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定所得者	2	0	0	0	0	2	2
日本IVR学会 IVR専門医	2	1	0	0	0	3	4

	島根大学医学部附属病院	島根県立中央病院	松江市立病院	松江赤十字病院	浜田医療センター	合計	前年
一般社団法人 日本核医学会 PET核医学認定医	4	1	1	1	2	9	8
NPO法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員会 検診マンモグラフィ読影認定医師A評価	12	3	0	2	0	17	13
NPO法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員会 検診マンモグラフィ読影認定医師B評価	14	7	8	5	0	34	31
歯科医師							
(社) 日本口腔外科学会 口腔外科専門医	3	1	1	0	0	5	5
(社) 日本病理学会 口腔病理専門医	1	0	0	0	0	1	1
看護師							
(社) 日本看護協会 がん看護専門看護師	2	0	0	0	0	2	0
(社) 日本看護協会 がん化学療法看護認定看護師	1	1	1	1	1	5	3
(社) 日本看護協会 がん性疼痛看護認定看護師	0	1	0	0	1	2	2
(社) 日本看護協会 乳がん看護認定看護師	0	1	0	1	0	2	2
(社) 日本看護協会 緩和ケア認定看護師	3	1	2	1	2	9	8
(社) 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師	1	2	1	1	1	6	6
(社) 日本看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師	0	1	0	0	1	2	1
(社) 日本看護協会 手術看護認定看護師	1	1	0	0	1	3	2
(社) 日本看護協会 がん放射線療法看護認定看護師	0	0	0	0	0	0	
日本IVR学会認定看護師	0	0	0	0	0	0	0
その他専門的技術・知識を有する医療従事者							
日本医療薬学会 がん専門薬剤師	1	0	0	0	0	1	1
日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師	2	2	2	1	1	8	8
日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師	1	0	0	0	0	1	1
日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師	4	19	3	0	7	33	29
日本臨床細胞学会 細胞検査士	4	5	4	3	2	18	16

	島根大学医学部附属病院	島根県立中央病院	松江市立病院	松江赤十字病院	浜田医療センター	合計	前年
NPO法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員会 検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師	4	5	5	4	4	22	25
日本医学放射線学会 医学物理士	1	0	1	0	1	3	3
放射線治療品質管理機構 放射線治療品質管理士	2	1	2	0	0	5	6
日本放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師	2	1	3	1	1	8	6
四病院団体協議会／医療研修推進財団 診療情報管理士	8	3	4	16	2	33	21
	462	207	133	149	67	1018	967

## 患者数・診療件数の状況

1)患者数等		島根大学 医学部付 属病院	島根県立 中央病院	松江市 立病院	松江赤十 字病院	浜田医 療セン ター
年間新入院患者数（平成23年1月1日～12月31日）※1		8960人	13461人	8352人	12333人	6819人
	年間新入院がん患者数（平成23年1月1日～12月31日）※2	2779人	3177人	1520人	2653人	1319人
	年間新入院患者数に占めるがん患者の割合	31%	23.60%	18.20%	21.50%	19.30%
年間外来がん患者延数（平成23年1月1日～12月31日）※3		64021人	47296人	23227人	33692人	11393人
年間院内死亡がん患者数（平成23年1月1日～12月31日）		108人	282人	201人	241人	203人
新入院患者数(原則、平成24年4月1日～7月31日までの新入院患者。)	※1	2924人	4379人	2819人	4047人	2345人
	新入院がん患者数 ※2	976人	1055人	445人	872人	450人
	(入院患者数に占めるがん患者の割合)	33.40%	24.10%	15.80%	21.50%	19.20%
	うち肺がん患者数 (ICD-10コード C34\$)※	145人	154人	31人	123人	75人
	うち胃がん患者数 (ICD-10コード C16\$)	65人	203人	98人	71人	70人
	うち大腸がん(直腸がんを含む)患者数 (ICD-10コード C18\$, C19, C20)	70人	187人	62人	119人	76人
	うち肝臓がん患者数 (ICD-10コード C22\$)	76人	134人	49人	51人	40人
	うち乳がん患者数 (ICD-10コード C50\$)	38人	88人	34人	83人	25人
※1 新入院患者数は、例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は2件とする。入院した患者がその日のうちに退院あるいは死亡した場合も計上する。						
※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断されたものについて計上すること。						
※3 年間外来がん患者延数は、当年の新来、再来がん患者及び往診、巡回診療、健康診断、人間ドック等を行い、診療録の作成又は記載の追加を行ったがん患者の延数を記入する。同一患者が2つ以上の診療科を受診し、それぞれの診療科で診療録の作成又は記載の追加を行った場合、それぞれの外来患者として計上する。						
※4 「\$」は当該項目の下位分類を全て含むという意味である。						
2)麻酔及び手術等の状況(平成24年4月1日～7月31日)						
	全身麻酔件数総数	706件	776件	408件	732件	513件
ア	悪性腫瘍手術総数	366件	386件	245件	419件	111件
イ	肺がん(C34\$)の手術件数					
	開胸手術 K511\$, K514\$, K518\$	1件	4件	2件	6件	0件
	胸腔鏡下手術 K514-2\$	33件	14件	3件	9件	0件
ウ	胃がん手術 (C16\$)の手術件数					
	開腹手術 K654-2, K6552, K655-42, K6572	7件	13件	7件	12件	0件
	腹腔鏡下手術 K654-3, K655-22, K657-22	7件	16件	8件	3件	9件
	内視鏡手術 粘膜切除術(EMR) K6531	0件	1件	0件	1件	0件
	内視鏡手術 粘膜下層剥離術(ESD) K6532	6件	19件	17件	19件	15件
エ	大腸がん手術 (C18\$, C19, C20)の手術件数					
	開腹手術 K7193, K739\$, K740\$	7件	12件	4件	35件	12件
	腹腔鏡下手術 K719-3, K740-2\$	13件	27件	20件	13件	19件
	内視鏡手術 K721\$, K721-2\$, K739-2	44件	83件	110件	126件	90件

1)患者数等		島根大学 医学部付 属病院	島根県立 中央病院	松江市 立病院	松江赤十 字病院	浜田医 療セン ター	
オ	肝臓がん(C22\$)の手術件数						
	開腹手術 K695\$	9件	3件	4件	6件	0件	
	腹腔鏡下手術 K695-2	11件	0件	1件	0件	0件	
	マイクロ波凝固法 K697-2	0件	0件	0件	0件	0件	
	ラジオ波焼灼療法 K697-3	15件	27件	6件	16件	8件	
カ	乳がん (C50\$)の手術件数						
	手術 K476\$	15件	41件	13件	38件	7件	
	乳癌冷凍凝固摘出術 K475-2	0件	0件	0件	0件	0件	
	乳腺腫瘍摘出術(生検) K474\$	0件	2件	6件	5件	0件	
	乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術 K474-3	13件	0件	0件	8件	0件	
乳房再建術(乳房切除後) 二期的に行うもの K476-32	0件	0件	0件	0件	0件		
キ	転移性肺がん (C780)の手術件数						
	開胸手術 K511\$, K514\$, K518	0件	1件	0件	1件	0件	
	胸腔鏡下手術 K514-2\$, K513	5件	0件	3件	0件	0件	
ク	転移性肝がん (C787)の手術件数						
	開腹手術 K695\$	3件	0件	3件	0件	0件	
	腹腔鏡下手術 K695-2	3件	0件	1件	0件	0件	
3)放射線治療							
※以下、放射線治療件数に関する項目は、下記を参考に、必ず放射線治療責任医師の確認を取って記入すること。							
ア-1	のべ患者数(平成23年1月1日～12月31日の間に放射線治療を開始した患者数)						
	例:平成23年3月に新患として放射線治療を受け、同10月に転移で再度放射線治療を受けた場合は2名と数える。						
	・体外照射		306人	249人	147人	214人	186人
	そのうち特殊なもの						
		定位照射(脳)	2人	8人	0人	0人	0人
		定位照射(体幹部)	1人	0人	0人	0人	0人
	強度変調放射線治療(IMRT)	17人	18人	5人	0人	0人	
	・小線源治療	39人	0人	0人	0人	0人	
ア-2	のべ患者数(平成24年4月1日～7月31日の間に放射線治療を開始した患者数)						
	例:平成24年4月に新患として放射線治療を受け、同7月に転移で再度放射線治療を受けた場合は2名と数える。						
	・入院						
		肺がん	2人	11人	1人	7人	9人
		胃がん	0人	0人	0人	3人	0人
		肝がん	0人	0人	0人	0人	3人
		大腸がん	0人	1人	0人	7人	2人
		乳がん	1人	1人	0人	2人	3人
	・外来						
		肺がん	4人	0人	5人	0人	6人
	胃がん	0人	0人	0人	1人	1人	
	肝がん	1人	0人	0人	0人	1人	
	大腸がん	3人	0人	0人	0人	1人	
	乳がん	6人	15人	9人	28人	12人	

1)患者数等		島根大学 医学部付 属病院	島根県立 中央病院	松江市 立病院	松江赤十 字病院	浜田医 療セン ター	
イ-1	照射回数(平成24年4月1日～7月31日ののべ照射回数)						
	・体外照射		1637回	1699回	2031回	1728回	1371回
	そのうち特殊なもの						
	定位照射(脳)		0回	3回	0回	0回	0回
	定位照射(体幹部)		0回	0回	0回	0回	0回
	強度変調放射線治療 (IMRT)		308回	69回	495回	0回	0回
・小線源治療		2回	0回	0回	0回	0回	
イ-2	のべ照射回数(平成24年4月1日～7月31日)						
	・入院						
		肺がん	60回	176回	60回	210回	126回
		胃がん	0回	0回	0回	60回	0回
		肝がん	0回	0回	0回	0回	60回
		大腸がん	0回	30回	0回	140回	50回
		乳がん	30回	25回	0回	54回	85回
	・外来						
		肺がん	98回	0回	244回	0回	100回
		胃がん	0回	0回	0回	20回	17回
		肝がん	25回	0回	0回	0回	25回
	大腸がん	63回	0回	0回	0回	30回	
	乳がん	158回	540回	515回	756回	335回	
4)がんに係る薬物療法(平成24年4月1日～7月31日)							
ア	のべ患者数	入院患者数	550人	214人	103人	512人	89人
		外来患者数	578人	469人	136人	497人	117人
	*1レジメンを1人と数える。内服のみのレジメンは対象外とする。 例:当月中にエトポシド+シスプラチン併用療法4コース実施した場合は1人と数える。						
イ	のべ処方日数	入院処方数	1130件	1478件	188件	985件	412件
		外来処方数	835件	1867件	642件	876件	628件
	*抗がん剤が処方された件数に、それぞれの処方日数を掛けた数とする。内服のみのレジメンは対象外とする。 例:当月中に、抗がん剤が4日分処方された場合は4件と数える。						
5)検査等の実績状況							
ア	病理診断の件数						
	病理診断(平成23年1月1日～12月31日)		4912件	5905件	2881件	4556件	2507件
	細胞診診断(平成23年1月1日～12月31日)		5385件	6989件	4388件	3321件	2867件
	病理組織迅速組織顕微鏡検査(平成23年1月1日～12月31日)		565件	338件	162件	264件	86件
	剖検(平成23年1月1日～12月31日)		19件	30件	1件	12件	3件
	剖検率(平成23年1月1日～12月31日)			7%	5%	0.00%	2.40%

1)患者数等		島根大学 医学部付 属病院	島根県立 中央病院	松江市 立病院	松江赤十 字病院	浜田医 療セン ター
イ	画像診断等の件数（平成23年1月1日～12月31日）					
	上部消化管内視鏡検査					
	（食道及び胃・十二指腸ファイバースコープ。手術に伴って検査を行った患者数も計上すること）	3402件	4880件	5254件	3473件	5032件
	気管支内視鏡検査					
	（気管支ファイバースコープ。手術に伴って検査を行った患者数も計上すること）	146件	124件	65件	99件	106件
	大腸内視鏡検査					
	（大腸及び直腸ファイバースコープ。手術に伴って検査を行った患者数も計上すること）	1203件	2603件	1358件	1643件	1196件
	血管連続撮影					
	（動脈注射、動脈造影カテーテル法、静脈造影カテーテル法、心臓カテーテル法により、心臓や血管内に造影剤を注入して連続撮影を行う検査。手術に伴って検査を行った患者数も計上すること）	3084件	1570件	876件	364件	579件
	CT検査 E2001\$	22204件	22493件	16217件	20332件	17537件
	CTガイド下生検 D409からD413までに掲げるものをCT透視下に行った場合	797件	21件	27件	8件	51件
	MRI検査 E202\$	6914件	5728件	4144件	6923件	5107件
	RI診断検査（シンチグラム） E100\$	1868件	1441件	292件	982件	345件
シングルフォトンエミッションCT（SPECT）検査 E101	913件	729件	328件	425件	250件	
PET（陽電子断層撮影）検査 E101-2\$、E101-3\$	0件	0件	216件	1526件	1034件	

## 医師等の専門性に関する資格名に該当する人数等について

	鳥取大学医学部 附属病院	米子医療センター	鳥取県立中央病院	鳥取市立病院	鳥取県立厚生病院	合計	前年
(社) 日本整形外科学会 整形外科専門医	13	3	4	4	3	27	26
(社) 日本皮膚科学会 皮膚科専門医	5		0	2	0	7	8
(社) 日本麻酔科学会 麻酔科専門医	14	3	3	4	2	26	26
(社) 日本医学放射線学会 放射線診断専門医	17	2	2	2	2	25	8
(社) 日本医学放射線学会 放射線治療専門医	2		2	1	0	5	20
(財) 日本眼科学会 眼科専門医	19		1	2	0	22	14
(社) 日本産科婦人科学会 産婦人科専門医	17		5	3	3	28	24
(社) 日本耳鼻咽喉科学会 耳鼻咽喉科専門医	16		2	0	1	19	15
(社) 日本泌尿器科学会 泌尿器科専門医	10		2	2	1	15	16
(社) 日本形成外科学会 形成外科専門医	2		1	0	0	3	3
(社) 日本病理学会 病理専門医	3		1	1	0	5	3
(社) 日本内科学会 総合内科専門医	22	3	5	2	3	35	65
(社) 日本外科学会 外科専門医	31	6	5	8	6	56	48
(社) 日本糖尿病学会 糖尿病専門医	3		3	1	0	7	5
(社) 日本肝臓学会 肝臓専門医	10	2	3	1	2	18	16
(社) 日本感染症学会 感染症専門医	1		1	0	0	2	2
有限責任中間法人 日本救急医学会 救急科専門医	3		2	0	1	6	5
(社) 日本血液学会 血液専門医	3		3	1	0	7	8
(社) 日本呼吸器学会 呼吸器専門医	16	3	3	1	0	23	19
(社) 日本循環器学会 循環器専門医	14	1	2	2	3	22	16
(財) 日本消化器病学会 消化器病専門医	18	4	5	2	4	33	25
(社) 日本腎臓学会 腎臓専門医	3		0	0	1	4	6
(社) 日本小児科学会 小児科専門医	28	3	5	2	3	41	38
(社) 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医	3		0	0	0	3	7
有限責任中間法人 日本消化器外科学会 消化器外科専門医	11	3	3	2	3	22	19
(社) 日本超音波医学会 超音波専門医	3		1	1	0	5	4
特定非営利活動法人 日本臨床細胞学会 細胞診専門医	10		4	1	0	15	12
(社) 日本透析医学会 透析専門医	2		0	0	1	3	3

	鳥取大学医学部付属病院	米子医療センター	鳥取県立中央病院	鳥取市立病院	鳥取県立厚生病院	合計	前年
(社) 日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医	10		1	1	2	14	14
(社) 日本リハビリテーション医学会 リハビリテーション科専門医	3		1	0	1	5	5
(社) 日本老年医学会 老年病専門医	1		0	0	0	1	1
心臓血管外科専門医認定機構 心臓血管外科専門医	3		2	0	1	6	7
呼吸器外科専門医合同委員会 呼吸器外科専門医	5	1	1	0	1	8	5
(社) 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医	9	4	5	3	5	26	19
特定非営利活動法人 日本小児外科学会 小児外科専門医	1		0	0	0	1	0
有限責任中間法人 日本神経学会 神経内科専門医	15		2	1	0	18	14
有限責任中間法人 日本リウマチ学会 リウマチ専門医	4	1	1	1	1	8	6
有限責任中間法人 日本乳癌学会 乳腺専門医	2		0	1	0	3	5
有限責任中間法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医	3		0	0	0	3	
(社) 日本東洋医学会 漢方専門医	0		0	0	0	0	0
特定非営利活動法人 日本レーザー医学会 レーザー専門医	0		0	0	0	0	0
特定非営利活動法人 日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医	2		1	0	0	3	3
(社) 日本アレルギー学会 アレルギー専門医	7	2	1	0	0	10	5
有限責任中間法人 日本核医学会 核医学専門医	7		2	2	0	11	11
特定非営利活動法人 日本気管食道科学会 気管食道科専門医	3		0	0	1	4	2
有限責任中間法人 日本大腸肛門病学会 大腸肛門病専門医	1		1	0	0	2	1
特定非営利活動法人 日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医	3		2	0	0	5	4
有限責任中間法人 日本ペインクリニック学会 ペインクリニック専門医	1		1	0	0	2	3
有限責任中間法人 日本熱傷学会 熱傷専門医	0		0	0	0	0	0
特定非営利活動法人 日本脳神経血管内治療学会 脳血管内治療専門医	1		0	0	0	1	1
特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医	4	1	1	1	0	7	7

	鳥取大学医学部付属病院	米子医療センター	鳥取県立中央病院	鳥取市立病院	鳥取県立厚生病院	合計	前年
一般社団法人 日本周産期・新生児医学会 周産期(新生児)専門医	4		1	1	0	6	5
(社) 日本生殖医学会 生殖医療専門医	3		0	0	1	4	3
一般社団法人 日本小児神経学会 小児神経専門医	3		0	0	0	3	3
特定非営利活動法人 日本心療内科学会 心療内科専門医	0		0	0	0	0	0
有限責任中間法人 日本総合病院精神医学会 一般病院連携精神医学専門医	0		0	0	0	0	0
日本緩和医療学会 専門医	0	2	0	0	0	2	0
日本緩和医療学会 暫定指導医	1	2	0	1	0	4	4
がん治療認定医機構 がん治療認定医	44	5	15	13	3	80	51
がん治療認定医機構 暫定教育医	8	1	5	3	4	21	12
(社) 日本精神神経学会 精神科専門医	5		1	1	1	8	6
(社) 日本泌尿器科学会/日本Endourology・ESWL学会 泌尿器腹腔鏡技術認定医	5		0	1	0	6	6
日本内視鏡外科学会 産婦人科領域 技術認定所得者	0		0	1	0	1	4
日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定所得者	0		0	0	0	0	
日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定所得者	3		1	0	0	4	1
日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定所得者	3		0	0	0	3	4
日本IVR学会 IVR専門医	4		1	0	1	6	4
一般社団法人 日本核医学会 PET核医学認定医	7		2	3	0	12	10
NPO法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員会 検診マンモグラフィ読影認定医師A評価	2	1	6	3	0	12	10
NPO法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員会 検診マンモグラフィ読影認定医師B評価	3	3	6	0	0	12	11
歯科医師							
(社) 日本口腔外科学会 口腔外科専門医	5		1			6	5
(社) 日本病理学会 口腔病理専門医	0		0		0	0	0
看護師							
(社) 日本看護協会 がん看護専門看護師	1		1		0	2	0
(社) 日本看護協会 がん化学療法看護認定看護師	1	1	1	2	1	6	6
(社) 日本看護協会 がん性疼痛看護認定看護師	0		0	0	0	0	1
(社) 日本看護協会 乳がん看護認定看護師	0		0	0	0	0	0
(社) 日本看護協会 緩和ケア認定看護師	2	1	1	2	1	7	6

	鳥取大学医学部付属病院	米子医療センター	鳥取県立中央病院	鳥取市立病院	鳥取県立厚生病院	合計	前年
(社) 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師	1	1	1	1	0	4	5
(社) 日本看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師	0		0	0	0	0	0
(社) 日本看護協会 手術看護認定看護師	1		0	0	0	1	1
(社) 日本看護協会 がん放射線療法看護認定看護師	0	1	0	0	0	1	
日本IVR学会認定看護師	6		8	0	0	14	10
3)その他専門的技術・知識を有する医療従事者							
日本医療薬学会 がん専門薬剤師	0		0	0	0	0	0
日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師	3	1	1	1	0	6	7
日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師	0		0	0	0	0	0
日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師	4		0	1	4	9	5
日本臨床細胞学会 細胞検査士	4	1	5	3	3	16	11
NPO法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員会 検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師	4	2	4	2	4	16	14
日本医学放射線学会 医学物理士	1		0	1	0	2	2
放射線治療品質管理機構 放射線治療品質管理士	3	1	2	1	0	7	5
日本放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師	4	1	2	1	2	10	8
四病院団体協議会／医療研修推進財団 診療情報管理士	3	2	2	7	2	16	13
合計	522	68	157	104	78	929	807

## 患者数・診療件数の状況

1)患者数等	鳥取大学 医学部付 属病院	米子医療 センター	鳥取県立 中央病院	鳥取市立 病院	鳥取県立 厚生病院
年間新入院患者数（平成23年1月1日～12月31日）※1	14095人	4230人	8756人	6343人	6108人
年間新入院がん患者数（平成23年1月1日～12月31日）※2	3765人	1298人	2005人	1231人	1544人
年間新入院患者数に占めるがん患者の割合	26.70%	30.70%	22.90%	19.40%	25.30%
年間外来がん患者延数（平成23年1月1日～12月31日）※3	32304人	64744人	27795人	-人	18452人
年間院内死亡がん患者数（平成23年1月1日～12月31日）	148人	193人	186人	184人	131人
新入院患者数(原則、平成24年4月1日～7月31日までの新入院患者。) ※1	4640人	1406人	3051人	2293人	2008人
新入院がん患者数 ※2	1510人	423人	651人	386人	422人
(入院患者数に占めるがん患者の割合)	32.50%	30.10%	21.30%	16.80%	21%
うち肺がん患者数 (ICD-10コード C34\$)※	192人	84人	158人	53人	61人
うち胃がん患者数 (ICD-10コード C16\$)	58人	44人	83人	54人	70人
うち大腸がん(直腸がんを含む)患者数 (ICD-10コード C18\$, C19, C20)	35人	50人	93人	34人	92人
うち肝臓がん患者数 (ICD-10コード C22\$)	118人	24人	41人	40人	57人
うち乳がん患者数 (ICD-10コード C50\$)	42人	65人	31人	41人	32人
※1 新入院患者数は、例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は2件とする。入院した患者がその日のうちに退院あるいは死亡した場合も計上する。					
※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断されたものについて計上すること。					
※3 年間外来がん患者延数は、当年の新来、再来がん患者及び往診、巡回診療、健康診断、人間ドック等を行い、診療録の作成又は記載の追加を行ったがん患者の延数を記入する。同一患者が2つ以上の診療科を受診し、それぞれの診療科で診療録の作成又は記載の追加を行った場合、それぞれの外来患者として計上する。					
※4 「\$」は当該項目の下位分類を全て含むという意味である。					
2)麻酔及び手術等の状況(平成24年4月1日～7月31日)					
全身麻酔件数総数	1318件	373件	541件	392件	407件
ア 悪性腫瘍手術総数	480件	59件	199件	185件	97件
イ 肺がん(C34\$)の手術件数					
開胸手術 K511\$, K514\$, K518\$	4件	0件	2件	4件	0件
胸腔鏡下手術 K514-2\$	31件	6件	11件	1件	21件
ウ 胃がん手術 (C16\$)の手術件数					
開腹手術 K654-2, K6552, K655-42, K6572	10件	9件	10件	14件	9件
腹腔鏡下手術 K654-3, K655-22, K657-22	10件	0件	12件	6件	3件
内視鏡手術 粘膜切除術(EMR) K6531	0件	1件	0件	8件	0件
内視鏡手術 粘膜下層剥離術(ESD) K6532	13件	9件	11件	0件	10件
エ 大腸がん手術 (C18\$, C19, C20)の手術件数					
開腹手術 K7193, K739\$, K740\$	3件	15件	6件	4件	9件
腹腔鏡下手術 K719-3, K740-2\$	17件	1件	11件	17件	5件
内視鏡手術 K721\$, K721-2\$, K739-2	4件	22件	18件	10件	6件
オ 肝臓がん(C22\$)の手術件数					
開腹手術 K695\$	8件	2件	5件	2件	1件
腹腔鏡下手術 K695-2	2件	0件	0件	0件	1件
マイクロ波凝固法 K697-2	0件	0件	0件	0件	0件
ラジオ波焼灼療法 K697-3	0件	0件	3件	2件	18件
カ 乳がん (C50\$)の手術件数					
手術 K476\$	24件	9件	9件	9件	3件
乳癌冷凍凝固摘出術 K475-2	0件	0件	0件	0件	0件
乳腺腫瘍摘出術(生検) K474\$	0件	0件	0件	0件	6件
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術 K474-3	0件	0件	0件	1件	0件
乳房再建術(乳房切除後) 二期的に行うもの K476-32	0件	0件	0件	0件	0件

1)患者数等		鳥取大学 医学部付 属病院	米子医療 センター	鳥取県立 中央病院	鳥取市立 病院	鳥取県立 厚生病院	
キ	転移性肺がん (C780)の手術件数						
	開胸手術 K511\$, K514\$, K518	0件	0件	0件	1件	0件	
	胸腔鏡下手術 K514-2\$, K513	6件	0件	1件	0件	2件	
ク	転移性肝がん (C787)の手術件数						
	開腹手術 K695\$	2件	0件	2件	1件	2件	
	腹腔鏡下手術 K695-2	1件	0件	0件	0件	1件	
3)放射線治療							
※以下、放射線治療件数に関する項目は、下記を参考に、必ず放射線治療責任医師の確認を取って記入すること。							
ア-1	のべ患者数(平成23年1月1日～12月31日の間に放射線治療を開始した患者数)						
	例:平成23年3月に新患として放射線治療を受け、同10月に転移で再度放射線治療を受けた場合は2名と数える。						
	・体外照射		351人	145人	114人	135人	108人
	そのうち特殊なもの						
		定位照射(脳)	0人	0人	0人	2人	0人
		定位照射(体幹部)	1人	0人	0人	2人	0人
		強度変調放射線治療(IMRT)	30人	0人	0人	6人	0人
・小線源治療		36人	0人	0人	4人	0人	
ア-2	のべ患者数(平成24年4月1日～7月31日の間に放射線治療を開始した患者数)						
	例:平成24年4月に新患として放射線治療を受け、同7月に転移で再度放射線治療を受けた場合は2名と数える。						
	・入院						
		肺がん	14人	12人	6人	14人	5人
		胃がん	0人	0人	0人	0人	0人
		肝がん	2人	2人	0人	2人	3人
		大腸がん	0人	1人	1人	0人	0人
		乳がん	4人	6人	0人	1人	1人
	・外来						
		肺がん	6人	3人	0人	8人	2人
		胃がん	0人	0人	0人	0人	0人
	肝がん	0人	0人	0人	0人	0人	
	大腸がん	1人	2人	2人	2人	0人	
	乳がん	16人	12人	6人	10人	6人	
イ-1	照射回数(平成24年4月1日～7月31日ののべ照射回数)						
	・体外照射		2616回	883回	1172回	931回	594回
	そのうち特殊なもの						
		定位照射(脳)	0回	0回	0回	4回	0回
		定位照射(体幹部)	4回	0回	0回	8回	0回
		強度変調放射線治療(IMRT)	343回	0回	0回	16回	0回
・小線源治療		32回	0回	0回	9回	0回	
イ-2	のべ照射回数(平成24年4月1日～7月31日)						
	・入院						
		肺がん	320回	141回	137回	222回	40回
		胃がん	0回	0回	0回	0回	0回
		肝がん	25回	35回	0回	34回	67回
		大腸がん	0回	15回	25回	0回	0回
		乳がん	63回	100回	0回	2回	25回
	・外来						
		肺がん	81回	22回	0回	88回	23回
		胃がん	0回	0回	0回	0回	0回
	肝がん	0回	0回	0回	0回	0回	
	大腸がん	10回	32回	56回	21回	0回	
	乳がん	395回	289回	150回	216回	180回	

1)患者数等		鳥取大学 医学部付 属病院	米子医療 センター	鳥取県立 中央病院	鳥取市立 病院	鳥取県立 厚生病院	
4)がんに係る薬物療法（平成24年4月1日～7月31日）							
ア	のべ患者数	入院患者数	381人	243人	202人	72人	88人
		外来患者数	422人	224人	263人	117人	127人
	* 1レジメンを1人と数える。内服のみのレジメンは対象外とする。）						
例：当月中にエトポシド＋シスプラチン併用療法4コース実施した場合は1人と数える。							
イ	のべ処方日数	入院処方数	4196件	463件	918件	371件	296件
		外来処方数	54235件	821件	1455件	970件	580件
	* 抗がん剤が処方された件数に、それぞれの処方日数を掛けた数とする。内服のみのレジメンは対象外とする。						
例：当月中に、抗がん剤が4日分処方された場合は4件と数える。							
5)検査等の実績状況							
ア	病理診断の件数						
	病理診断（平成23年1月1日～12月31日）		6556件	2475件	3931件	4044件	2326件
	細胞診診断（平成23年1月1日～12月31日）		2880件	81件	4715件	2264件	2949件
	病理組織迅速組織顕微鏡検査（平成23年1月1日～12月31日）		530件	53件	102件	2件	88件
	剖検（平成23年1月1日～12月31日）		14件	3件	13件	3件	0件
	剖検率（平成23年1月1日～12月31日）		3%	1.10%	4%	1%	0%
イ	画像診断等の件数（平成23年1月1日～12月31日）						
	上部消化管内視鏡検査		1316件	1551件	4679件	5875件	2167件
	（食道及び胃・十二指腸ファイバースコープ。手術に伴って検査を行った患者数も計上すること）						
	気管支内視鏡検査		201件	60件	55件	77件	76件
	（気管支ファイバースコープ。手術に伴って検査を行った患者数も計上すること）						
	大腸内視鏡検査		603件	882件	1446件	1201件	926件
	（大腸及び直腸ファイバースコープ。手術に伴って検査を行った患者数も計上すること）						
	血管連続撮影		1444件	86件	1174件	1214件	1084件
	（動脈注射、動脈造影カテーテル法、静脈造影カテーテル法、心臓カテーテル法により、心臓や血管内に造影剤を注入して連続撮影を行う検査。手術に伴って検査を行った患者数も計上すること）						
	CT検査 E2001\$		20711件	7217件	17352件	14535件	13906件
	CTガイド下生検 D409からD413までに掲げるものをCT透視下に行った場合		84件	0件	87件	44件	21件
	MRI検査 E202\$		7024件	2995件	4831件	4217件	3053件
RI診断検査（シンチグラム） E100\$		921件	672件	655件	414件	626件	
シングルフォトンエミッションCT(SPECT)検査 E101		588件	84件	305件	254件	286件	
PET(陽電子断層撮影)検査 E101-2\$, E101-3\$		1651件	0件	0件	1084件	0件	